

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人三徳会 だいじ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 22日		～ 令和8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日		～ 令和8年 1月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公認心理師、作業療法士、社会福祉士、言語聴覚士と専門性の高い職員がいる。	専門性を活かした支援を行おうとしている	職員全体に情報・知識技能が共有されるようにして処遇の向上を図りたい
2	温かい処遇	職員全員が温かくお子さんを処遇する	専門性の向上を図り、温かく実効性のある支援を行えるように、研修を重ねている
3	チームでの支援	心理、作業療法士、言語聴覚士、保育・児童指導員の各チームがそれぞれの力を活かす支援	情報共有の工夫、お子さんの担当制

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報をうまく保護者に伝えられずにいる	情報発信担当者の欠如、職員の能力・意識不足	保護者、園さんの両方に適宜情報を伝える工夫が必要
2	保護者会の内容がニーズに合わない	担当者の輪番制	年間を通して担当することで内容の充実を図る
3	情報共有が手薄	マニュアル、安全計画等の周知不足	情報共有、周知に努める

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人三徳会 だいじ

公表日 令和8年 3月 2日

利用児童数

20

回収数

18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	4		スペースには恵まれていると思いますので、お知らせしていくように努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	7		職員配置について情報発信するように努めます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	0	0	2		環境設定について情報発信に努めます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	1		適切な環境作りと情報の発信に努めます
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・専門的な支援を活動で行った場合は、おたより帳に内容を知らせて頂けると分かりやすい	・お知らせの仕方を工夫し、定期的に内容や変化について共有できるようにします
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	3		支援プログラムを公表していることを知っていただけるよう努めます
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	3		楽しい支援が行われ、おうちの方にその内容を知っていただけるように努めます
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	0	0	3		現在は在籍園での交流がほとんどなので、育児講座の際の預かりの機会を活用していきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	0	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	1	・面談時、内容（普段の様子等）を文章にまとめて、資料として配布して頂けると、より良いと思う。	・所内で検討し、お知らせの仕方を工夫していきます
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	1	・電話での連絡、ありがとうございます。	・適宜連絡を取り合えるように努めています
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	1	0	3	・保護者会や講演会を開いていただき、交流の機会を頂いていますが、兄弟のいる子と会う事が少ないのか、兄弟同士の交流はよくわかりません。	・夏祭りや保護者会などで交流できるようにしていましたが、今後はきょうだいのも一緒に参加できる催しを計画し、交流できる場を作ります
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	1	・気になることがある時、すぐ対応して頂けています。	・今後も継続して取り組んでいきます

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	1	・連絡帳で日々の成長を感じる事ができて大変ありがたく思っています。出来た事を知れるのも嬉しいですが、必要な時は、今後の課題になる部分も、もっと遠慮なく書いていただいても良いのかなと思います。 ・毎回連絡帳で、子どもの様子や情報を伝え共有している。急ぎの時は電話連絡もしている。	・支援中に連絡帳を記入する都合上、様子の記入ばかりになりがちなのが課題です。新たな連絡ツールの活用も視野に検討します
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	2	・「だいじなおてがみ」はもう少し字を少なくしていただくと読みやすい。	・お伝えしたいことが沢山になり読みにくい事もあったかと思えます。レイアウトを変えるなどして、読みやすくなるよう工夫します
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	2		マニュアルについて情報共有に努めます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	0	0	1		訓練実施について情報の共有に努めます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		安全計画の周知に努めます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	1		事故対応マニュアルの周知に努めます
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	1		安心して楽しく来所してもらえるように一層努力します
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	1	・「今日だいじだよ」と伝えると反応が返って来るので、楽しく通っていることが伝わってきます。ありがとうございます。 ・楽しんで行ってくれるので、感謝しています。	・今後も楽しく通っていただけるよう、活動内容を工夫していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人三徳会 だいじ		公表日		令和8年 3月 2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	・遊ぶスペースが狭く、廊下にパーテーションを置いて一人ひとりが広々使えるよう工夫している	・1つのエリアに人数が集中しないように工夫しているが、どうしても集まってしまうことがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3	・未記入1	・子どもに目が行き届いていない時がある ・1日の業務が時間内に終わらず（記録他）業務改善が必要と感じる ・曜日によっては1対1での対応が必要な子ども多く、対応に厳しい時もある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	・環境改善も意識して打ち合わせをしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	・各部屋が埋まっている時もある為、声を掛け合いながら対応している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		・参画する体制にはなっているが、活用しきれていない事が今後の課題
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・保護者会は開催している（2ヶ月に1回） ・保護者の意見も取り入れて業務改善に努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	・さらに向上を図っていく	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5	・未記入1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	2	・回覧されている物は目を通すようにしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		・適宜作成していけるように改善する
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2	・共通理解がより深まるよう努める	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		・共通理解、課題の共有、対応についてなど意思統一はとれているが、計画を見る機会は少ない ・職員間で次の利用の子のねらいを確認している
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	・作業療法士のアセスメント、言語聴覚士のアセスメントなどや、日々の行動観察を行っている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・一部の職員が個々で決めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・今後も工夫していく	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0		・前日にねらいを確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2		・翌日の利用の子のねらいを確認している為、利用日によっては日があいてしまう
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		・記録の仕方にばらつきがあり改善が必要
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		未記入1
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	1		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		・育児講座を開催している ・機会を増やしていきたい
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		・契約時に行っている
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0		未記入1	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	1	・定期的な育児講座や保護者会を開催し、座談会などで交流を持ってもらったり、その際別室で預かりをするなどして兄弟の受け入れも行っている ・きょうだいの交流も図れるような場を作っていく	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・ゲームソフトを追加して欲しいと申し出があった場合、どのような遊びなのか確認してから職員間で判断した	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	4		・発信はしているが、HP、SNSの活用は少ない
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		・回覧がたまっている
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	・だいまつりを開催し、隣接の保育園と交流したり、保育園の夏祭りにブースを設置させてもらい交流している	・地域住民を招待する機会は年に1.2回
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・送迎マニュアル、災害時の対応については周知、訓練を行った	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	・定期的に利用児を交えた訓練をしている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3	・事例なし。保護者からの申し入れの対応は行っている ・保護者からの聞き取りに留まっている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	未記入1	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	未記入1	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	3	・対象なし。対象児がいる場合には対応できるように体系化されている	